

節分豆まき祭

平成26年2月3日(月) 於：聖徳院

佐原の太子山 聖徳院では、午後2時から節分大法要が行われました。まず本堂にて祈祷が行われ、大勢の参拝客が法要に参加しました。その後、15時からは豆まき、大勢の子どもたちも集まりました。

「福はうち」のかけ声と共に、福豆や福銭、おやつが投げられ、参加者は、皆大きな袋を持参し、一生懸命受け取りました。



豆知識★豆まきの起源

平安時代、鬼が出て来て都を荒らすのを、祈祷し鬼の穴を封じて、大豆で鬼の目を打ちつぶし、災厄を逃れたという故事伝説が始まりと言われます。豆は、生命力と魔除けの呪力が備わっているという信仰、または「魔目（豆・まめ）」を鬼の目に投げつけて鬼を滅する「魔滅」に通じ、鬼に豆をぶつけることにより、邪気を追い払い、一年の無病息災を願うという意味合いがあるそうです。 (wikipedia より)



久里浜行政センター